

World News

ロケット関連ニュース

1 .アリアンスペース社は Spainsat 衛星の 打上げ契約調印

Jean-Yves Le Gal、Arianespace 最高経営責任者、および Jose Maria Hoyos Fernandez、Hisdesat 最高経営責任者で、スペイン軍オペレータ最高経営責任者は、スペインの最初の軍の通信衛星 " SPAINSAT " に関しマドリッドで打上げサービス契約に2002年9月16日合意した。

SPAINSAT は、2004年にフランス領ギアナギアナスペースセンターから Ariane 5により打上げられる予定である。

SPAINSAT は、政府間通信を確保するための専用のスペイン最初の通信衛星です。

衛星は、2001年に Hispasat、INSA (INTA の100%資本の子会社) EADS CASA Espacio、INDRA y SENER により設立された新しい会社、Hisdesat により運用管理される。

その最初の顧客はスペイン国防省です。

SPAINSAT は、1991年及び1992年にアリアンロケットで打上げられた Hispasat 1A および 1b 衛星の Secomsat 軍ペイロードを引き継ぐ予定である。

スペースシステムズ・ロラールによって製造される SPAINSAT は、打上げ時重量は約3700 kg. で、西経30度の大西洋の上に配置される。ペイロードは13本の X-Band トランスポンダと1本の Ka-Band トランスポンダからなり、主要な衛星搭載機器は地上局設備と共にスペインで製造される。

- Ariane Space 2002.9.16 プレスリリース記事 -

2 . H - IIA ・ F3 打上げ成功

DRTS / USERS 宇宙機を所定の軌道に 上げる事に成功

宇宙開発事業団は、平成14年9月10日17時20分(日本時間標準時)に、種子島宇宙センターからデータ中継技術衛(DRTS)及び(財)無人宇宙実験システム研究開発機構(USEF)が開発した次世代型無人宇宙実験システム(USERS)宇宙機を搭載したH-IIAロケット3号機(H-IIA・F3)を打ち上げた。



H- A ・ F3 打上げ NASDA 提供

H- A ・ F3号機は正常に飛行し、発射後約14分21秒後にUSERS宇宙機を、約29分36秒後にDRTSを分離し、予定軌道に投入した。また、DRTSの信号の受信を、チリ大学サンチャゴ局にて17時59分から開始し、この

信号により太陽電池パドル展開が予定通り実行されていることを確認した。また、その後の発表で USERS 宇宙機を高度約 450km の円軌道に、データ中継技術衛星 (DRTS) 打上げ後「こだま」と命名を静止トランスファ軌道に投入された事が確認された。

- 宇宙開発事業団 2002.9.10/9.18 プレスリリース記事 -

衛星関連ニュース

1 . INTELSAT906 号通信衛星

9 月 6 日に打ち上げ成功

スペースシステムズグローバル(SS/L)社によってインテルサットのために製造された最新の通信衛星インテルサット 906 号機はアリアン 44L ロケットでフランス領ギアナのクールー打上げ基地から 9 月 6 日 2:44amEDT に打上げられた。

インテルサット 906 号機は 1980 年以来 SS/L 社によってインテルサット機構に納入された 30 番目の衛星となる。また

Intelsat シリーズの 6 番目の衛星となる。其のシリーズの最後の衛星は 2003 年の第一四半期に打上げられる予定である。

インテルサット IX 衛星の 7 機目が打上げられると、SS/L がインテルサットへ納入した 31 機目の衛星となり、インテルサットのほぼ半数の衛星を製造した事になり、他の衛星製造会社に比べてインテルサットに納入したより多くの衛星を作った会社になる。インテルサット 906 は、東経 64 度の GEO 軌道からインド洋領域でサービスする予定である。インテルサット 906 衛星は 22 本の Ku-バンドと最高 72 本の C バンドトランスポンダ (36MHz 相当) およびその太陽パドル発生電力は初期運用時に 9.5 キロワット

以上の発電能力がある。

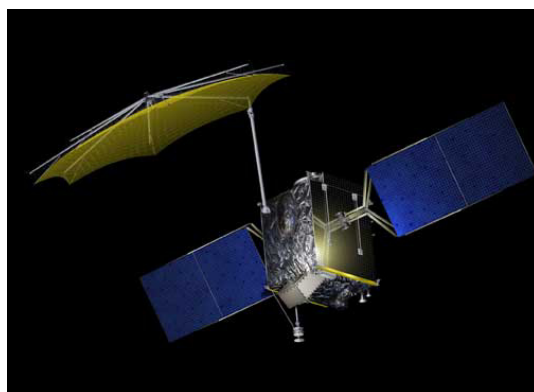
これはデジタルサービスに対する要望を満足させる為に素晴らしいカバレッジと強力な信号をインテルサットに提供する。

これにより、インテルサット 号衛星を置換え音声、ビデオ、データ伝送サービスを提供する。衛星は SS/L 社の標準バス FS1300 である。

- SS/L 2002.9.6 プレスリリース記事 -

2 . N-STAR c 衛星の最終軌道上引渡し性能確認が完了

オービタル社は今日、N-STAR c 衛星の軌道上引渡し試験が NTT DoCoMo に対し実証され成功裏に完了したと発表した。



N-STAR c イメージ図 Orbital 社提供

ロッキードマーティン / オービタル チームにより製造された N-STAR c は、Orbital の最新の STAR-2 小形通信衛星バスを採用した最初の衛星である。2002 年 7 月 5 日に Ariane 5 ロケットで打上げて以来、合同チームは衛星プラットフォームの評価、搭載通信ペイロード、地上設備の評価を行ってきた。8 月末に衛星運用管理が NTT DoCoMo に移管された。N-STAR c プログラムは、

ロッキードマーチンが主契約者となりペイロード全体を提供しオービタルの STAR-2 小型衛星プラットフォームに組み込まれた。衛星はペンシルベニア州ニュータウンのロッキードマーチンの工場で組立てられた。

Orbital Sciences Corp. 2002.9.12 記事